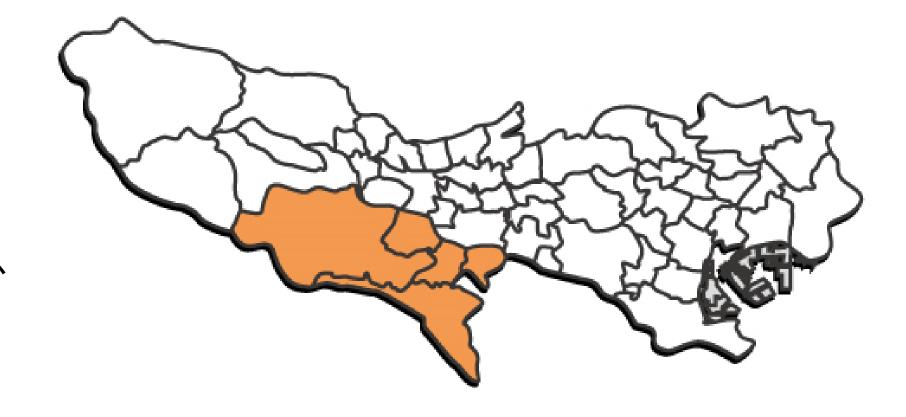
南多摩高次脳機能障害支援センターとは

平成25年6月より、東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受託し、 活動している。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、 地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実を図る」ことである。 今回は平成27年度の取り組みについて報告する。



南多摩地域(八王子・町田・日野・多摩・稲城)

①相談事業 ②症例検討会及び圏域連絡会の開催 ③専門職向け研修の開催

【相談事業】

電話、面談による相談支援を実施。



平成25年度 平成26年度

> 11件 10件

平成27年度

64件

相談内容の例

- ■高次脳機能障害の診断ができる病院を紹介してほしい
- ■就労したいがどのような支援が受けられるか?
- ■50代で介護保険利用中。今後の支援をどうすればいいか
- ■高次脳のリハビリができる施設はありますか?

【圏域連絡会】

◆南多摩圏域連絡会

日 付:平成27年8月7日(金)

参加者:27名

◆協力施設連絡会 (全12回)

参加施設:北原国際病院、永生病院(八王子)

多摩丘陵病院(町田) 天翁会(多摩) 他 2施設

【症例検討・地域連絡会】



「高次脳機能障がいでつながる

医療と福祉 in町田」

: 平成28年1月15日(金) 開催地 : 町田市文化交流センター

:医療と福祉の協業実践報告

参加者 :81名



「高次脳機能障がい者支援で

つながる医療と福祉 in多摩」

: 平成27年11月3日(火祝)

開催地 : 多摩市総合福祉センター

: 渡邉 修氏 講師

参加者 :95名



【高次脳ゼミ】対象: 当事者、家族、医療・介護等支援者



「高次脳機能障害者どのように対応するか

~子どもから高齢者まで~」

: 平成27年12月26日(土)

:橋本圭司氏 参加者:126名



「高次脳機能障害者」支援の視点

専門医として 家族として」

: 平成28年2月26日(日)

:納谷敦夫氏 参加者:99名

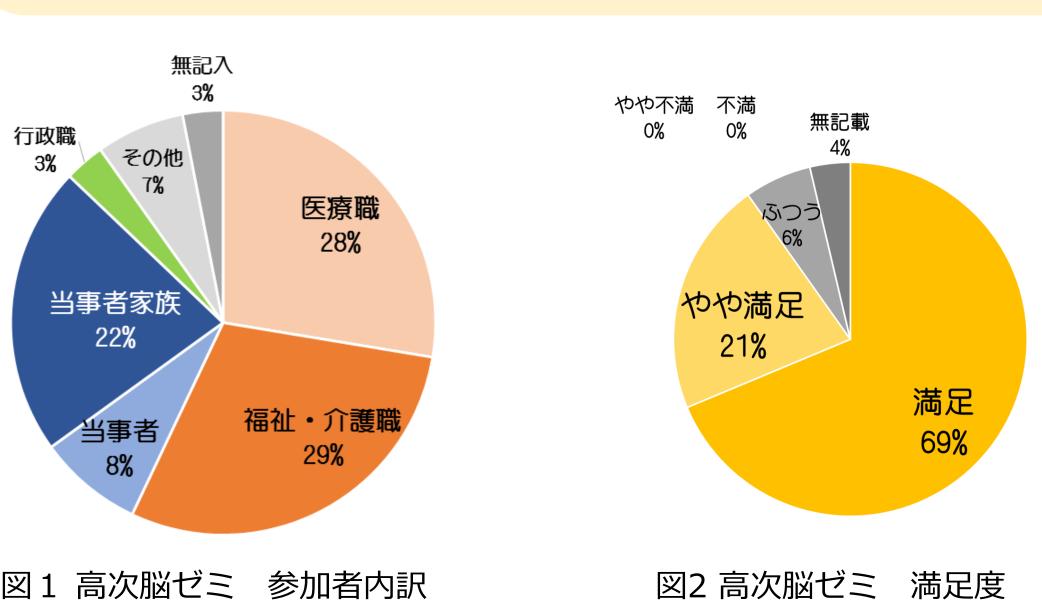


図1 高次脳ゼミ 参加者内訳

く参加者からの声>(アンケートより)

・今回の講演をきっかけに、他職種も含め患者様の関わり方を見直していきたい

・なやクリニックと行政とのかかわり方、思いを実現していくことについて、参考になりました

表 1 高次脳ゼミ参加者数とその内訳

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
<参加者数>	293名 (全3回)	320名(全3回)	225名(全2回)
専門職 当事者・家族 行政職 その他	58% 33% 2% 4%	70% 20% 2% 6%	57% 30% 3% 10%
〈専門職内訳〉 医療職 介護・福祉職	81% 19%	58% 42%	48% 52%

(アンケートより)

【生活・就労支援セミナー】対象: 医療支援者



「高次脳機能障害の就労支援

~退院から就労までの支援の実際~」

付:平成27年11月29日(日)

講 師:井上 量氏 他

参加者:38名



【家族相談会】対象:ご家族

「ココが知りたい!障害年金 セミナー&相談会」

: 平成28年3月11日(金) 康枝氏 参加者:16名





考察および今後の展望

昨年度に引き続き、計画した事業は全て実施できた。昨年度課題であった相談件数は64件に増え、本事業の知名度向上が伺える。相談者は 介護支援専門員等の支援者が増えており、今後ますます他機関との連携や情報提供が重要になると考えられる。今後はさらに家族会(家族 相談会)の開催、行政職との連携、新パンフレット作成、ホームページの充実に取り組みたい。



南多摩高次脳機能障害支援センター